



目次

- | | |
|----------|--------------|
| ① 支部通常総会 | ④ 部会活動報告 |
| ② 行政ニュース | ⑤ 各部会行事予定 |
| ③ トピックス | ⑥ 事務局からのお知らせ |
| | ⑦ 会員名簿 |

中部支部ニュース

支部通常総会

第8回 支部通常総会



一般社団法人 日本建設機械施工協会中部支部第8回(名称変更前から通算すると第62回目)通常総会は、令和元年5月13日(月)ウィルあいち 愛知県女性総合センターに於いて、126社(委任状を含む)の出席のもと開催されました。

所輝雄支部長、本部・渡辺和弘業務執行理事の挨拶に引き続き、以下の議題について承認可決され、その後、本部表彰規程による会長表彰、令和元年度建設機械優良技術員の表彰が行われました。

通常総会終了後に国土交通省国土地理院中部地方測量部長 安藤 暁史氏より「国土地理院に関する最近の話題」についてご講演を行って頂きました。



講演会

1. 議題

- 第1号議案 平成30年度 事業報告承認の件
- 第2号議案 平成30年度 決算報告承認の件
- 第3号議案 令和元年度 事業計画に関する件
- 第4号議案 令和元年度 収支予算に関する件



〈本部60年表彰〉

2. 本部表彰規程による表彰

本部表彰規程によって以下の永年会員の方々に、本部・渡辺和弘業務執行理事から感謝状の贈呈が行われました。

- 60 年 表 彰 ダイハツディーゼル株式会社名古屋支店
日本車輛製造株式会社
- 50 年 表 彰 日本道路株式会社中部支店
- 40 年 表 彰 (該当なし)
- 30 年 表 彰 株式会社アクティオ名古屋支店
コベルコ建機日本株式会社中部支社
- 20 年 表 彰 奥村組土木興業株式会社名古屋支店
- 永年役員表彰者 (該当なし)



〈本部50年表彰〉



〈本部30年表彰〉

3. 令和元年度 建設機械優良技術員表彰

各団体等から推薦していただきました以下の建設機械優良技術員の方々につきまして、所支部長より表彰状と記念品が贈呈されました。

【優良建設機械運転員】

- 鬼 塚 賢 悟 株式会社加藤建設
- 門 久 末 広 三幸土木株式会社
- 小 池 幸 次 日本道路株式会社中部支店
- 長谷川 猛 株式会社フィールド・サービス

【優良建設機械運営管理者】

- 矢 野 弘 二 日本車輛製造株式会社

【優良建設機械整備員】

- 浅 井 清 治 株式会社野田クレーン
- 川 崎 厚 マルマテクニカ株式会社名古屋事業所
- 山見坂 隆 水谷建設株式会社



〈本部20年表彰〉



〈優良建設機械運転員表彰〉



〈優良建設機械整備員表彰〉



〈優良建設機械運営管理者表彰〉

国土交通省 中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンターの取り組み

中部道路メンテナンスセンターは、急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データを生かした戦略的・効率的なメンテナンスを推進するための組織として、平成31(2019)年4月1日に設置されました。道路施設の現状や中部道路メンテナンスセンターの取り組みについて紹介します。

1. 道路施設の現状

全国には、橋長2m以上の橋梁が約73万橋あり、そのうち約9割を地方公共団体が管理しています(図-1)。また、約3割の橋梁が高度経済成長期に建設され、建設後50年経過の橋梁は、現在の約25%に対し、今後10年で約50%に急増します(図-2)。

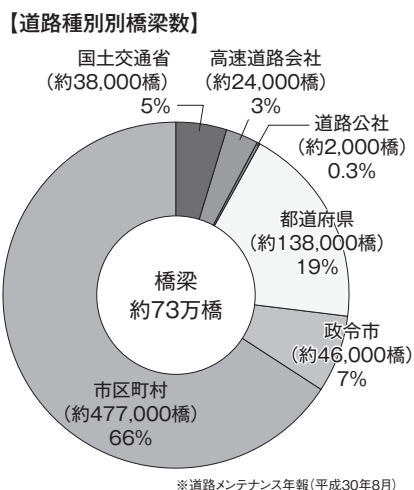


図-1 道路種別別の橋梁数

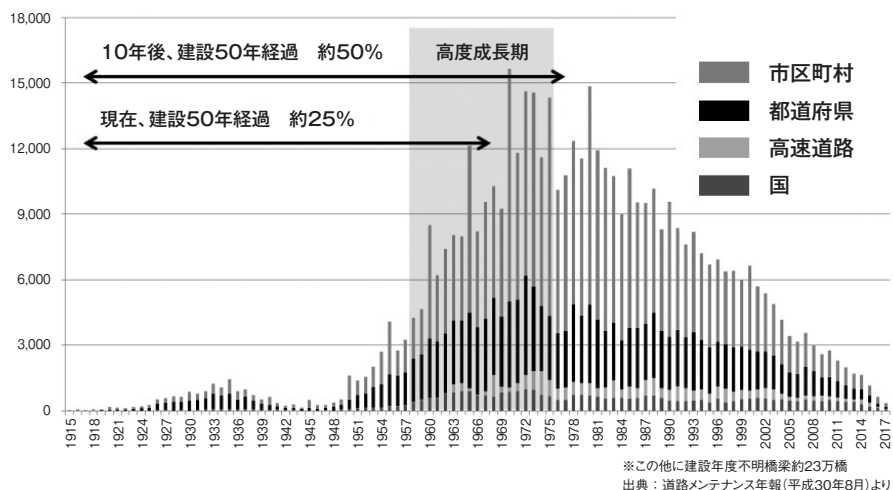


図-2 建設年度別の橋梁数

直轄管理の橋梁では、平成19(2007)年6月20日、国道23号木曽川大橋で道路を支える鋼材の破断(写真-1)が発見され、緊急工事期間が約4ヶ月に渡る車線規制を伴う修繕工事を行うことになり、周辺地域に交通混雑などの影響がでました。



(a)木曽川大橋 1963年架設



(b)破断した鋼材



(c)補修後(あて板補修)

写真-1 国道23号 木曽川大橋の損傷状況

平成24(2012)年12月2日には、笹子トンネル天井板の落下により、通行車両が天井板の下敷きになるなど、死亡者が発生しました(<https://www.c-nexco.co.jp/corporate/safety/sasago/>)。この後、平成25(2013)年6月に道路法の一部改正により、点検基準が法定化され、平成26(2014)年4月14日には、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」(http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_003328.html)が社会資本整備審議会 道路分科会より国土交通大臣に手交され、本格的なメンテナンスサイクルが始動しました。

2. 中部道路メンテナンスセンターの取り組み

平成26(2014)年度から始まった、橋梁やトンネルなどの施設を対象とした5年に一度の定期点検は昨年度で一巡しました。今後は、蓄積した点検データを生かした戦略的・効率的なメンテナンスを推進することが求められています。中部道路メンテナンスセンターは、定期点検結果データの分析により劣化予測や修繕計画の最適化など道路メンテナンスの高度化や、損傷が深刻化した後の大規模な修繕「事後保全」から、損傷が軽微なうちに補修を行う「予防保全」への転換に取り組めます。

また、技術者が不足する地方公共団体に対しては、道路メンテナンス会議での技術的課題に対する支援、道路構造保全に関する技術相談、研修会の開催など点検・診断の技術習得や技術力向上のための支援を行います。

さらに、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い施設については、地方公共団体の要請に基づき「道路メンテナンス技術集団」により技術的な助言を行う直轄診断を実施しています。

この7月9日には、古川橋(静岡県吉田町管理)において、中部道路メンテナンスセンター長を「道路メンテナンス技術集団」のリーダーとして直轄診断を行いました(写真-2)。今後詳細調査を行い診断報告を取り纏めることとしています。中部地方整備局管内での直轄診断は、平成29(2017)年に実施した乙姫橋(岐阜県中津川市管理)に次いで2例目の取組となります。



(a)派遣通知の手交

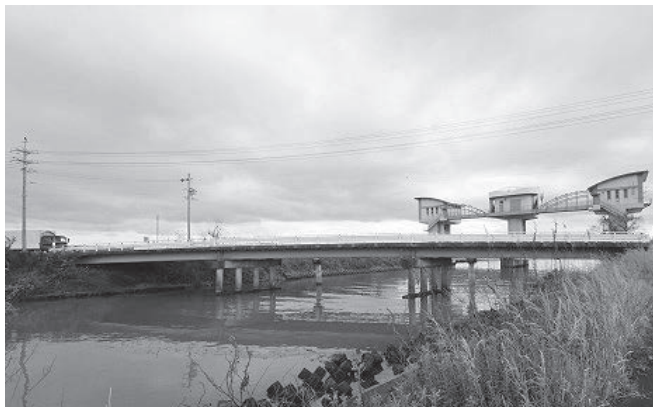


(b)吉田町長へ状況説明

写真-2 直轄診断の状況

【直轄診断(古川橋)損傷概要】

古川橋は、町道古川川尻線の湯日川に架かる橋長54.5m、幅員7.2mの3径間単純非合成H桁橋で、昭和44(1969)年に完成(49年経過)。上部構造には、主桁の下フランジを中心に腐食や減肉が見られ、下部構造には、支承の破損や段差が生じており、桁どうしの接触も確認されました(写真-3)。



(a)古川橋 全景



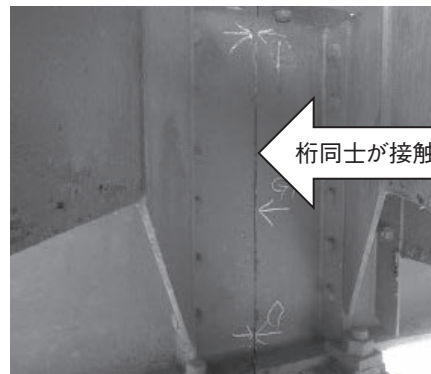
(b)点検状況



(c)上部構造の腐食



(d)支承の破損・段差



(e)桁の接触

写真-3 古川橋 損傷状況



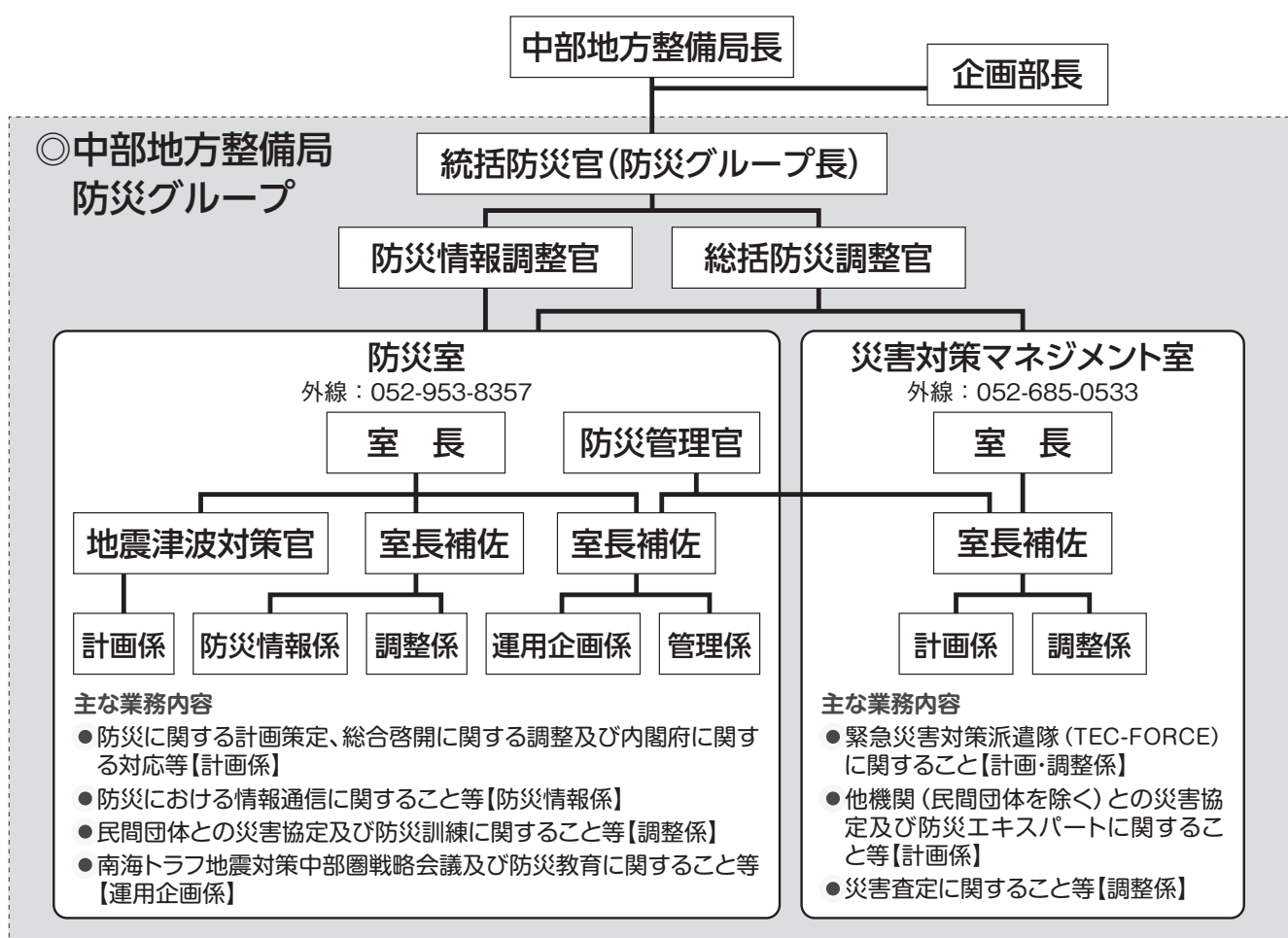
国土交通省中部地方整備局 防災に関する新組織について

近年、災害の頻発・激甚化に伴い、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）に求められる役割が拡大・高度化するとともに派遣隊員数・派遣回数が増加しています。

中部地方整備局では、迅速かつ円滑な災害対応のために、部長級の「統括防災官」をヘッドとする防災専属の組織（約20名規模）を平成31年4月から設置しました。

災害時におけるTEC-FORCE隊員の派遣調整・指揮命令体制を強化するとともに、平常時においてもTEC-FORCEによる支援計画の検討、自治体、警察、消防、自衛隊等の関係機関との連携体制の構築、TEC-FORCE隊員の訓練・研修等を実施します。

平成31年度 中部地方整備局の防災体制



■ 近年の主なTEC-FORCEの派遣実績

- H26.07 南木曾町への派遣（土石流）
- H26.09 御嶽山への派遣（噴火）
- H28.04 熊本地方への派遣（熊本地震）
- H28.08 東北地方への派遣（台風第10号）
- H29.07 九州北部豪雨への派遣（梅雨前線）
- H30.02 福井県への派遣（大雪）
- H30.06 大阪府への派遣（大阪府北部地震）
- H30.07 関市、下呂市、四国地整管内、中国地整管内への派遣（7月豪雨）
- H30.09 北海道への派遣（北海道胆振東部地震）



平成30年7月 倉敷市内 排水作業



平成30年7月
下呂市内 現地調査

中部地方整備局長

統括防災官

総括防災調整官

防災情報調整官

防災管理官

防災室

防災訓練の実施



災害対策マネジメント室

TEC-FORCE 派遣 後方支援



災害対策本部運営



災害時情報通信体制



映像配信



災害対策機械の派遣



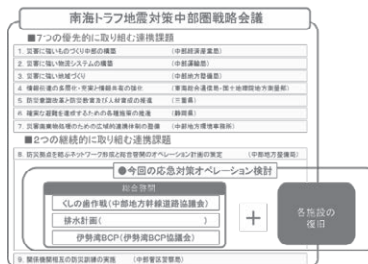
南海トラフ地震対策中部圏戦略会議



防災教育支援



総合啓開オペレーションの検討



統合災害情報システム (DiMAPS) の運用



TEC-FORCE 受援計画



災害査定



新名神高速道路(新四日市JCT～亀山西JCT)の開通効果

2019年3月17日、三重県北勢地域において整備が進められてきた新名神高速道路(新四日市JCT～亀山西JCT)及び東海環状自動車道(大安IC～東員IC)の2路線が同時開通しました。

今回の開通により静岡県(御殿場JCT)～滋賀県(草津JCT)間では、新東名高速道路、新名神高速道路による高速道路ダブルネットワーク化が完成しました。今回の新名神高速道路の完成により、広域的な物流・人流の円滑化や、並行する東名阪自動車道の慢性的な交通渋滞の緩和・解消、地域経済活性化等、様々な効果が発現しています。



図-1 新名神高速道路 開通セレモニー(鈴鹿PA)の状況【2019.3.17(日)撮影】

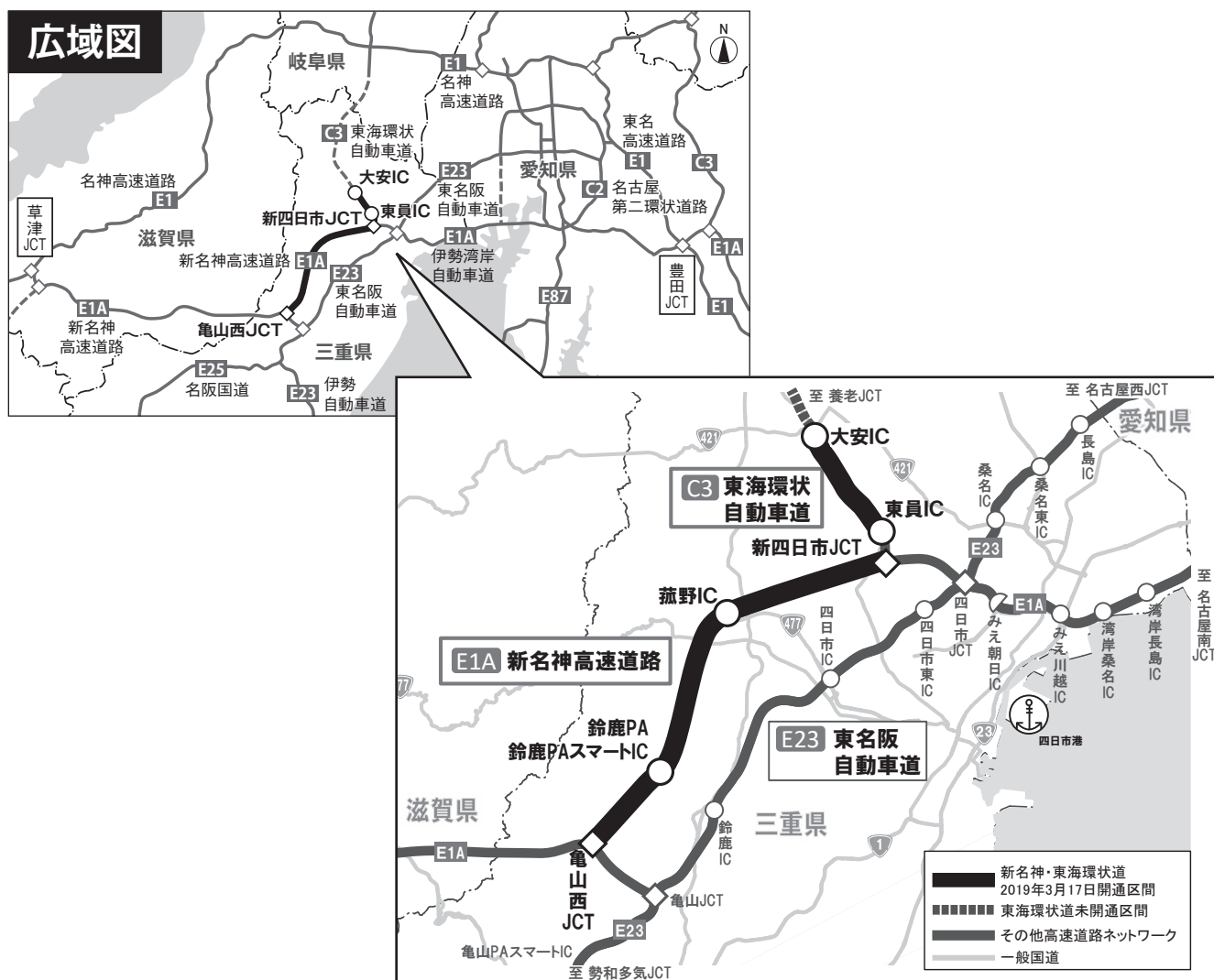


図-2 新名神高速道路・東海環状自動車道 開通区間位置図

■開通後1ヶ月・GWの交通状況

これまで、東名阪自動車道(四日市JCT～亀山JCT)では交通集中が著しく、新名神高速道路開通1年前の時点で交通量は99,000台/日、1ヶ月に95回もの渋滞が発生していました。

今回の開通から1ヶ月後の交通量では新名神高速道路は44,100台/日、東名阪自動車道は開通前後の比較で約3割減少し67,600台/日となり、ダブルネットワーク化により交通が分散しています。また、東名阪自動車道の渋滞発生回数は21回となり、大幅に減少する効果が確認されています。

また、改元・10連休とも重なった今年のGW期間は、三重県内全域の観光入込客数が増加し約3百万人以上の観光客が来訪しました。これにより、新名神高速道路・東名阪自動車道の交通量が昨年のGW期間との比較で約4割増加しましたが、東名阪自動車道で発生した渋滞回数は大幅に減少しています。

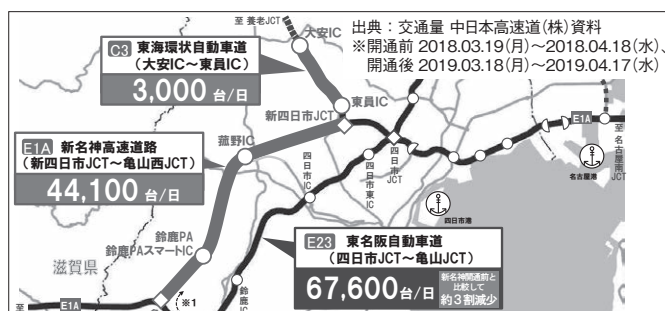


図-3 新名神高速道路・東海環状自動車道開通区間位置図

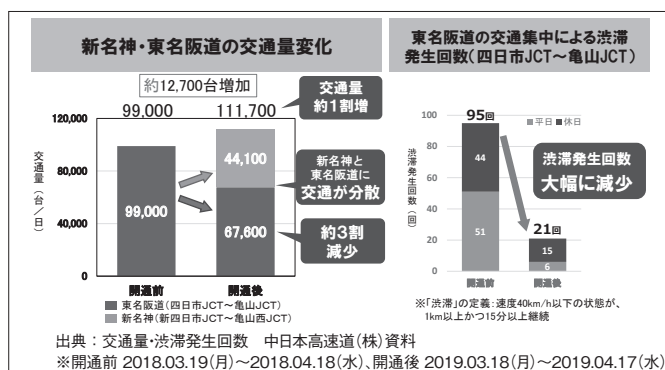


図-4 開通後1ヶ月の新名神高速道路・東名阪自動車道の交通状況変化

■新名神高速道路のストック効果

伊賀方面や南紀方面と名古屋を結ぶ高速バス路線では、東名阪自動車道の渋滞により遅延運行が常態化していましたが、今回の開通による渋滞緩和によって約9割が定刻運行となるなど定時性が大幅に向上しました。高速バス事業者では、運行状況の改善による車両・ドライバーの効率化が図られるとともに、ドライバーの働き方改革推進への期待も高まっています。

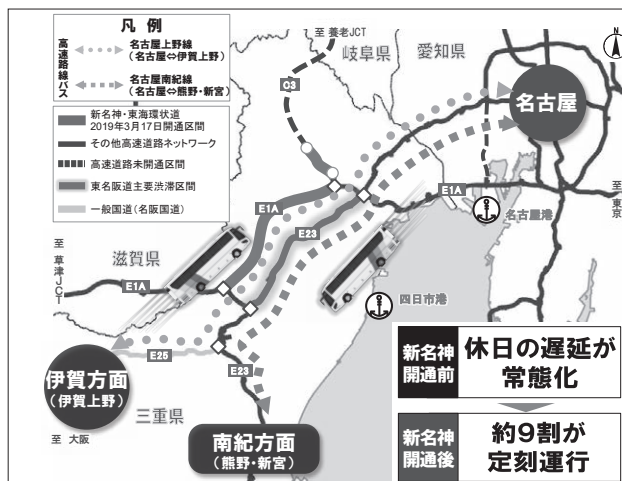


図-5 高速路線バスの定時性向上

※高速バス事業者へのヒアリング結果を基に作成

■新名神・東環開通効果検討会議

新名神・東環開通効果検討会議[2019年1月31日設立]では、国、高速道路会社、県、沿線市町が一体となって、新名神(新四日市JCT～亀山西JCT)及び東海環状自動車道(大安IC～東員IC)の開通効果について検討を行っています。調査検討した交通状況や開通効果などは、ホームページや記者発表を通じて情報発信を行っています。

新名神・東環開通
効果検討会議

国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支所、三重県、
四日市市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菰野町

同会議のホームページ (<http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/tsunagaruyan/index.html>)



当支部会員「(株)近藤組」が 令和元年度日本建設機械施工大賞・地域賞を受賞!

この地域賞は、地域に根ざした独自の視点に基づき、従来の施工技術・方法の改良、地域に普及させる等の取組を通じて地域へ貢献している業績を表彰し、国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的としています。

今年度は4件の応募があり、日本建設機械施工大賞選考委員会(委員長：深川良一 立命館大学教授)において厳正な審査を行った結果、当支部会員の(株)近藤組の「アスファルト目地注入機」を使用した「舗装クラック注入工法」他1件が選定され、去る6月11日東京で開催された本部通常総会後に表彰されましたので、その概要についてご紹介致します。

1.受賞件名

「アスファルト目地注入機」を使用した「舗装クラック注入工法」について

2.会社名

(株)近藤組

3.業績の概要

弊社は、長年の間、愛知県内の道路(の一部)の維持補修業務に携わってまいりました。

その中で、アスファルト舗装の代表的な変状である「舗装表面のひび割れ(線状・亀甲状)」を、早期に手当することで、インフラの安心・安全、更には道路舗装のライフサイクルコストの低減、道路の延命化を図ってきました。

今回、受賞となりました「舗装クラック注入工法」は、弊社が新たに開発した「アスファルト目地注入機」を用いて、小規模な範囲や点在する舗装の線状クラックにシール材を直接熔解し、注入する技術(NETIS取得No.160027-A)です。

「アスファルト目地注入機」は、小型軽量で機械自体のメンテナンスを大幅に低減(特許第6171178号)したものになっています。



写真-1 舗装クラック注入工法



写真-2 アスファルト目地注入機

4.業績の特徴

弊社が契約しています「建設事務所管内道路パトロール業務委託」等におきましては、以前は「道路パトロール班」「道路機動班」で構成されていましたが、道路舗装の早期補修を目的に「道路舗装機動班」が追加組織されました。

新たに組織された「道路舗装機動班」には、舗装表面の凸部切削(こぶとり)に使用する「小型薄層研削機(FCチップー)」、ポットホール等の打ち換えに使用する「路面補修システム溶融機(FCクッカー)」そして、舗装表面のひび割れ(線状・亀甲状)に「アスファルト目地注入機(KNT-50)」など様々な道路舗装の変状に対応できる機械及び体制を確保してきました。

こうした、従来技術の改良や新技術を採用した「道路維持補修に係る管理業務」は、今後さらに必要とされてくると同時に「インフラの安心・安全」の重要性や関心が高まることも予想できます。

作業の効率化を考慮し、昨今叫ばれている「働き方改革」に取り組むとともに、「インフラの安心・安全」並びに「メンテナンスのさらなる省力化」を目指していきたいと考えています。

【「アスファルト目地注入機」の特徴】

- シール材独自の適切な温度で直接熔解し、舗装表面のクラックに直接注入
- 熔解温度調節機能やシール材の保温機能もあり注入時の施工品質を確保
- 吐出量の調節やノズル手元スイッチで吐出・停止が可能、均一な出来形確保
- シール材は、少量からの熔解により、廃棄物の発生を抑制、経済的
- 高温となるシール材の小分け作業がなく、材料の飛散等の危険要因リスクを低減
- 油を利用したホース洗浄循環方式により、洗浄作業が安全かつ容易

【「アスファルト目地注入機」の特許技術(特許第6171178号)】

- ポンプを溶解釜内から外側へ設置し、モーターとの連結にカップリング方式を採用
- 外付け加熱室により、注入材が冷えることによるギアポンプへの負荷を低減
- 遮蔽壁を備えることで、ギアポンプの温度上昇を抑え、トラブルリスクを低減
- ポンプ動力にギヤードモーターを採用、特別構造によりメンテナンス性が向上

アスファルト目地注入機(KNT-50、50K、50J)主要諸元表

タイプ	KNT-50(ベース機)	KNT-50K(加温制御装置付)	KNT-50J(自動点火装置付)
機体寸法	1271×650×1152(1650)(全長×全幅×全高mm(ノズル収納時))		
機体重量※2	160kg	162kg	164kg(プロパン、発電機除)
入力電源	単相AC100V		
定格電流	5A		
制御方式	インバーター制御、可変吐出量		
ガス制御方式	手動操作、手動点火	設定温度でガス停止、手動点火	設定温度で消火、自動点火
溶融釜	ドレン付直火方式		
釜容量※3	50ℓ		
加熱方式	プロパンリングバーナー		
吐出ポンプ	15A特殊ギアポンプ		
吐出ホース	20A耐熱ホース2.0m		
吐出量※4	作業0～4.6ℓ/min 洗浄6.0ℓ/min		
ポンプ駆動	ギヤードモーター		
プロパンサイズ	LPガスボンベ 10kg		

※2 機体重量は発電機、LPガスボンベを除く乾燥重量

※3 釜容量は50ℓで材料比重により異なります。

※4 吐出量は材料温度や材質により異なります。



写真-3 アスファルト目地注入機（操作盤）



写真-4 材料（シール材）溶解状況

企画部会

令和元年度建設機械優良技術員表彰

月 日：5月13日(月)

会 場：ウィルあいち 愛知県女性総合センター

受賞者：優良建設機械運転員4名

優良建設機械整備員3名

優良建設機械運営管理者1名

公共工事(機械関係)の 諸課題に関する意見交換会

月 日：6月27日(木)

内 容：機械設備に関する諸課題について

中部地方整備局と意見交換会を実施

参加者：中部地整9名、当支部会員他36名

広報部会

現場見学会

月 日：7月31日(水)

場 所：新丸山ダム

内 容：転流工トンネルの見学

参加者：34名

技術・調査部会

講演会

月 日：5月13日(月)

会 場：ウィルあいち 愛知県女性総合センター

演 題：「国土地理院に関する最近の話題」

講 師：国土交通省国土地理院中部地方測量部
部長 安藤 暁史 氏

施工部会

建設機械施工技術検定試験(学科)

月 日：6月16日(日)

会 場：愛知学院大学日進キャンパス

受験者：1級306名、2級489名

建設機械整備技能検定試験

月 日：7月3日(水)～7月5日(金)

受験者：1級27名、2級95名

災害対策部会

2019年

豊川・矢作川連合総合水防演習・

広域連携防災訓練の展示コーナーに出展

月 日：5月19日(日)

場 所：愛知県豊田市矢作川右岸豊田大橋河川敷

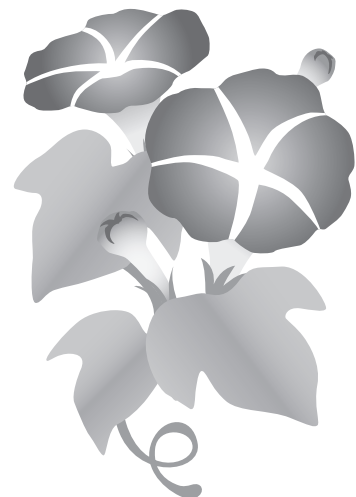
内 容：当支部会員の協力を得てUAV及びレーザ測量
機器等の展示、地盤改良及びブロック等のパネ
ル展示を行った。

令和元年度愛知県ブロック前期 災害対策用機械操作訓練

月 日：6月26日(水)、27日(木)

会 場：中部地方整備局中部技術事務所構内

参加者：災害協定会員会社17社31名



令和元年度 各 部 会 の 行 事 予 定

	春 (4月～6月)	夏 (7月～9月)	秋 (10月～12月)	冬 (1月～3月)	備 考
企画部会					
建設機械優良技術員表彰	5/13(月) (支部総会時)				
公共工事(機械関係)の諸課題に関する意見交換会	6/27(木)				
広報部会					
支部ニュース		8月中旬			
支部だより			12月下旬		
工事現場見学会		7/31(水)			
建設施工研修会(映画会)		9/20(金)			
新機種・新工法発表会					会員会社の申込により随時開催
技術・調査部会					
講演会	5/13(月) (支部総会時)				
技術講演・発表会			11/20(水)		
ICTを活用した建設技術出前授業					申込により随時開催
ICTを活用した建設技術出前講習会					〃
施工部会					
建設機械施工技術検定試験(学科)	6/16(日)				1級、2級
建設機械施工技術検定試験(実技)		8/30(金) ～9/2(月)			1級、2級
建設機械整備技能検定実技試験		7/3(水) ～5(金)			
道路除雪講習会			11/8(高山) 11/13(名古屋)		
建設機械施工技術検定試験(学科)				1/19(日)	2級
災害対策部会					
令和元年度愛知県ブロック前期 災害対策用機械操作訓練	6/26(水)～27(木)				
令和元年度愛知県ブロック後期 災害対策用機械操作訓練			11月		
災害又は事故における中部地方整備局所管 施設等の応急対策の支援に関する協定					災害応急支援随時
広域災害等における災害対策用機械 の運転支援に関する協定					災害応急支援随時

発刊図書一覧

(令和元年7月現在)

発行年月	図書名	一般価格(税込)	一般価格(税込)	送料
R 元年 5月	橋梁架設工事の積算 令和元年度版	10,800	9,180	900
R 元年 5月	令和元年度版 建設機械等損料表	8,640	7,344	700
H31年 3月	日本建設機械要覧 2019年版	52,920	44,280	900
H30年 8月	消融雪設備 点検・整備ハンドブック	12,960	10,800	700
H30年 5月	平成30年度版 建設機械等損料表	8,640	7,344	700
H30年 5月	橋梁架設工事の積算 平成30年度版	10,800	9,180	900
H30年 5月	大口径岩盤削孔工法の積算 平成30年度版	6,480	5,508	700
H30年 5月	よくわかる建設機械と損料2018	6,480	5,508	700
H29年 6月	橋梁架設工事の積算 平成29年度版	10,800	9,180	900
H29年 4月	ICTを活用した建設技術(情報化施工)	1,296	1,080	700
H28年 9月	道路除雪オペレータの手引	3,780	2,700	700
H28年 5月	橋梁架設工事の積算 平成28年度版	10,800	9,180	900
H28年 5月	大口径岩盤削孔工法の積算 平成28年度版	6,480	5,508	700
H28年 5月	よくわかる建設機械と損料2016	6,480	5,508	700
H26年 3月	情報化施工デジタルガイドブック 【DVD版】	2,160	1,944	700
H25年 6月	機械除草安全作業の手引き	972	864	250
H23年 4月	建設機械施工ハンドブック(改訂4版)	6,480	5,502	700
H22年 7月	情報化施工の実務	2,160	1,851	700
H21年11月	情報化施工ガイドブック2009	2,376	2,160	700
H20年 6月	写真でたどる建設機械200年	3,024	2,560	700
H19年12月	除雪機械技術ハンドブック	3,086		700
H18年 2月	建設機械施工安全技術指針・指針本文とその解説	3,456	2,880	700
H15年 7月	建設施工における地球温暖化対策の手引き	1,620	1,512	700
H15年 6月	道路機械設備 遠隔操作監視技術マニュアル(案)	1,944		700
H15年 6月	機械設備点検整備共通仕様書(案)	1,944		700
	機械設備点検整備特記仕様書作成要領(案)			
H15年 6月	地球温暖化対策 省エネ運転マニュアル	540		250
H13年 2月	建設工事に伴う騒音振動対策ハンドブック(第3版)	6,480	6,048	700
H12年 3月	移動式クレーン、杭打機等の支持地盤養生マニュアル(第2版)	2,675	2,366	700
H11年10月	機械工事施工ハンドブック 平成11年度版	8,208		700
H11年 4月	建設機械図鑑	2,700		700
H 9年 5月	建設機械用語集	2,160	1,944	700
H 6年 8月	ジオスペースの開発と建設機械	8,229	7,714	700
H 6年 4月	建設作業振動対策マニュアル	6,172	5,554	700
	建設機械履歴簿	411		250

※価格には消費税(8%)が含まれております。

※送料は複数冊の場合変わります。

(単位:円)

問い合わせ先

(一社)日本建設機械施工協会 中部支部

名古屋市中区丸の内三丁目17-10 三愛ビル5階
 TEL(052)962-2394 FAX(052)962-2478
<http://www.jcmanet.or.jp/chubu>

会員名簿(128社)

令和元年8月現在

電力会社(1社)

中部電力(株)	
---------	--

製造業(30社)

宇野重工(株)名古屋営業所 (株)荏原製作所中部支社 (株)共栄社 (株)クボタ中部支社 コベルコ建機日本(株)中部支社 佐藤鉄工(株)名古屋営業所 (株)三協メカニック (株)篠田製作所 ゼニヤ海洋サービス(株)東京営業所 ダイハツディーゼル(株)名古屋支店 大和機工(株) (株)拓和名古屋支店 (株)鶴見製作所中部支店 (株)電業社機械製作所名古屋支店 (株)西島製作所名古屋支店	仲山鉄工(株) 西田鉄工(株)名古屋営業所 日東河川工業(株)東海営業所 日本キャタピラー(同) 日本車輛製造(株) 阪神動力機械(株) 範多機械(株) 日立建機日本(株)中部支社 (株)日立インダストリアルプロダクツ中部支店 日立造船(株)中部支社 豊国工業(株)中部支店 豊和工業(株) (株)前田製作所名古屋支店 (株)丸島アクアシステム名古屋営業所 (株)丸徳鉄工
---	--

建設業(71社)

アイトム建設(株) (株)安藤・間名古屋支店 石橋建設興業(株) (株)オカシズ 大林道路(株)中部支店 (株)奥村組名古屋支店 奥村組土木興業(株)名古屋支店 (株)ガイアート中部支店 鹿島建設(株)中部支店 鹿島道路(株)中部支店 (株)加藤建設 加藤建設(株) 岐建(株) (株)キクテック (株)國井組 (株)熊谷組名古屋支店 (株)鴻池組名古屋支店 五洋建設(株)名古屋支店 (株)近藤組 佐藤工業(株)名古屋支店 (株)佐藤渡辺中部支店 山旺建設(株) サンリツ工業(株) (株)施設技術研究所 シブキヤ建設(株) 清水建設(株)名古屋支店 鈴中工業(株) 西濃建設(株) 大旺新洋(株)名古屋支店 太啓建設(株) 大成建設(株)名古屋支店 大日本土木(株) 大有建設(株) 高田建設(株) (株)竹中土木名古屋支店 中日建設(株)	中部ロード・メンテナンス(株) 東亜建設工業(株)名古屋支店 東亜道路工業(株)中部支社 東急建設(株)名古屋支店 東洋建設(株)名古屋支店 徳倉建設(株) 戸田建設(株)名古屋支店 飛鳥建設(株)名古屋支店 長坂建設興業(株) 中村建設(株) 名古屋電機工業(株)インフォメックス営業本部営業部名古屋営業所 西松建設(株)中部支店 (株)NIPPO中部支店 日本道路(株)中部支店 日本ハイウェイ・サービス(株)名古屋支店 日本ロード・メンテナンス(株)名古屋営業所 ノダック(株)中部事業所 (株)野田クレーン (株)フジタ名古屋支店 福田道路(株)中部支店 藤城建設(株) (株)不動テトラ中部支店 富士ロードサービス(株) 前田道路(株)中部支店 水谷建設(株) 水野建設(株) 三井住友建設(株)中部支店 みらい建設工業(株)中部支店 村本建設(株)名古屋支店 名工建設(株) 矢作建設工業(株) (株)山辰組 吉川建設(株)名古屋支店 若築建設(株)名古屋支店 (株)渡邊組
---	---

商事会社(6社)

(株)NTジオテック中部 英和(株)名古屋営業所 大竹建機産業(株)	コマツカスタマーサポート(株)中部カンパニー (株)千代田組中部支店 福井コンピュータ(株)中部営業所
--	---

機械整備業(5社)

住友建機販売(株)住友建機教習所 (株)整備工場東海葵工場 ブルドーザー整備(株)	(株)丸建サービス マルマテクニカ(株)名古屋事業所
---	-------------------------------

測量・コンサルタント業(4社)

エースコンサルタンツ(株)中部支店 キャリオ技研(株)	(株)中部テクノス (株)日本インシーク名古屋支店
--------------------------------	------------------------------

レンタル業(3社)

(株)アクティオ名古屋支店 瀧富工業(株)	西尾レントオール(株)中部支店
--------------------------	-----------------

その他(8社)

(株)内田商会 (株)建設システム サイテックジャパン(株) 静岡県重機建設業工業組合	(株)シーティーエス名古屋支店 玉野総合コンサルタント(株) (株)東京建設コンサルタント中部支社 (株)トプコンソキアポジショニングジャパン名古屋営業所
--	--

編 集 後 記

令和の施行から早三月。愚生、昭和の団塊世代直後に生まれ、30年余の平成の時代を無為に生き長らえ、今は令和という時代に身を委ねつつ、つい先だってとうとう“還暦”か、と嘆き気味に呟いたのは、実はもう8年もの前のこと。とんでもないスピード感です。どうもアラフォー前後辺りから、年を取る毎に時間の経つのが矢鱈と早いと体感するようになりました。

1日の長さは今も昔も24時間で不変の筈なのに、10代、20代の頃のほうが時間の経つのがゆっくりだったような気がします。なぜこう感じてしまうのか？

この現象について19世紀にフランスの哲学者ポール・ジャネが「ジャネの法則」で説明しています。以下は、「フリー百科事典『ウィキペディア』」から抜粋しました。

『簡単に言えば生涯のある時期における時間の心理的長さは、年齢の逆数に比例する(年齢に反比例する)。例えば、50歳の大人にとって1年の長さは1/50だが、5歳の子供にとっては1/5に相当する。よって、50歳の大人にとっての10年間は5歳の子供にとっての1年間に当たり、5歳の子の1日が50歳の人の10日に当たる』

何となく納得してしまいませんか？

愚生もボケっとしていたら、あっという間に後期高齢者に。残りの人生、ほどほど満たされた時が持てた、と体感できる余生を送りたいもの、と思っではいますが。(さて、どうしたらよいか、極めて難問です……。生活に新鮮さ?それともマンネリ生活に喝?)

最後になりましたが、令和最初の支部ニュース発行にあたりご多忙の中「行政ニュース、トピックス」などご寄稿していただきました皆様方に一同、謹んでお礼申し上げます。

編集部一同